

広報

# ひがしゆり

豊かな自然みんなで 拓く町 伸びる町

1988—5  
No. 398

昭和63年5月1日発行・毎月1日  
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

- ・ 自治会長会議
- ・ 全町クリーンアップ
- ・ イベント情報
- ・ カメラ・アイ
- 「春季大防火防止訓練」
- ・ ニュータウン東由利
- 「着々とすすむ
- 『由利牛の里』づくり」



▲春恒例の大防火防止訓練が四月二十五日館合地区で行われ、町消防団や地区婦人消防隊が実践さながらの訓練を展開しました（8・9ページ）



▲四月二十四日全町クリーンアップが行われ、早朝から千人を超す町民がゴミ袋片手に約十一トンのゴミを拾い集めました（4・5ページ）

▲今年の稲作がいよいよ始まりました。四月中～下旬にかけては各地で播種作業に精を出す農家の姿が目につきました。今年は良質米の作付けが大幅に増えそうです（12ページ）

# 生の意見を町政に反映させよう

## 三年連続納期内完納の自治会などを表彰

生の意見を聞いて町政に反映し、住み良い町づくりを…と、毎年年度始めに開いている自治会長会議が、今年も四月二十二日有鄰館で開かれました。四月から年度が変わり各自治会で役員改選が行われたこともあって、会議には半数以上新人の自治会長さんたちが出席しました。

午後一時三十分には開会した会議では、始めに納税優良表彰として五納税貯蓄組合と一個人、及び地域手づくり表彰として二団体に畠山町長から表彰状と記念品が贈られました。続いて畠山町長が六十三年度行政施策の概要を説明すると共に「町政は今年も一段と厳しい財政下にあるが、

町民のみなさんとともに、明るく住み良い町と活力あふれる町づくりを目指して今年も頑張つてまいりたい」とあいさつしました。このあと役場各担当課長がお知らせと協力依頼事項（概要を別記）を説明し懇談会及び意見交換に入りました。懇談会及び意見交換は、事前にハ

ガキで取り寄せていた自治会からの要望事項について町が回答する形で進められ、十一自治会からの十八事項について役場の各担当課長が回答しました（要望事項、回答を左記に掲載）。表彰を受けた団体及び個人は次のとおりです（敬称略）。

- ▼祝沢納税貯蓄組合▼蔵 同
- （組合表彰）
- ▼山崎納税貯蓄組合▼中通 同
- ▼新処 同
- （個人表彰）
- ▼前田代納税貯蓄組合長 藤丸隆
- （地域手づくり事業表彰）
- ▼八塩山麓会▼大蔵桜梅の会



自治会長会議の懇談会で、意見を述べる自治会長さん

### 環境整備などを自治会が要望

（泡の淵）

■通称町道ビクリ坂にカーブミラーとガードレール設置を（昨年車の転落事故が二件発生している）。

答 カーブミラーは大きいものと更新、ガードレールは六月中旬に設置する。

■防火用水に看板の設置を。

答 さっそく設置する。

（黒淵）

■野中ノ土爪間の早期舗装を。

答 農村総合整備モデル事業で計画している。もう少しお待ちを。

（時雨山）

■部落用水路の整備を早急に。

答 資材を現物支給するので、受益者の協力を得て自主施工を。

（下小屋）

■下小屋橋ノ運動広場間の凸凹がひどいので改良を。

答 資材費等に助成するので地域で自主施工を。

（五海保）

■五海保バス停にも急行バスを停車させてくださるよう羽後交通に働きかけてほしい。

答 すでに要望のある畑村バス停とあわせ、さっそく対応する。

■片越地域に消火栓の設置を。

答 今年中に設置する。

■既設消火栓にホースの増設を。

答 消火栓ホースは既設の二本が基準で、増設はできない。

（板戸）

■久保から板戸までの除雪をしつかりやってもらいたい。

# 町から

## 「ご協力をお願いします」

### 〈住民課〉

#### ■交通事故防止について

町では、自治会長会議の席上毎年、お知らせと協力依頼をしています。今年も役場各課から二十九事項のお知らせや協力依頼をしました。主なものは次のとおりです。ご協力くださるようお願いいたします。

### 〈企画財政課〉

#### ■土地取引の届出について

土地の高騰を抑制し、国土の乱開発を防止する目的で制定された国土利用計画法に基づき、一定面積以上（本町の場合一万平方メートル）の土地取引を行うとする場合は、事前に届出し、裁定を受ける必要があります。林地など該当面積以上の土地取引を行うおとする場合は必ず契約締結前に、予定する契約の概要を所定の用紙で届出をしてください。届出書は内容が審査され、六週間以内に許可等があります。

### 〈税務課〉

#### ■固定資産税一期の納期について

本年度は固定資産税の評価替えの年に当たするため、固定資産税一期の納期限は五月三十一日（従来は四月三十日）に変更されます。

### 〈産業経済課〉

#### ■航空防除の実施について

いもち病（穂首）、紋枯病、場合によってはメイチュウ、ウンカ等

病害予防のため、全町一円でヘリコプターによる水稲の航空防除を実施する予定です（七月と八月に三回）。

### 〈建設課〉

#### ■道路敷の無許可使用禁止について

道路の路面や法、側溝などは道路敷地となります。道路側溝を埋立てたり、小橋を架けたり、あるいは工作物や建物を建てたりする場合は、道路管理者の許可を得なければ行うことができません。必要な場合は必ず許可申請をして実施するようお願いいたします。

#### ■家屋の新増築について

家屋を新増築する場合は、秋田県知事の建築許可を受けてから工事に着手してください。また、本町は冬期間の除雪があるため、道路から二メートル以上離して建築するようにご協力をお願いいたします。

答 県が業者に委託しているものであり双方に徹底方を要請する。

### 〈下通〉

#### ■消火栓ホース収納箱の修理を。

答 近日中に更新する。

### 〈新町〉

#### ■冬期通学の安全確保のため西の浜線に防雪囲いの設置を。

答 県に強力に要望する。

#### ■消防分署下の側溝出口に土砂

が詰まるので改善してほしい。

答 現地を調査したが、多少の土砂は地域の協力で除去してほしい。

### 〈野田〉

#### ■松ノ沢川道路の改修を。

答 調査の上検討する。

#### ■松ノ沢川の災害復旧工事を。

答 調査の上できるものは実施していく。

#### ■岩館バイパスの早期実現を。

答 県に整備を強力に陳情中。

### 〈蔵〉

#### ■生活排水整備の見通しは。

答 現在老方地区を整備中で、順次整備する。

#### ■岩館・市助橋の補修を。

答 先日工事を発注した。工事期間中、迂回路に協力を。

### 〈杉森〉

#### ■杉森線の水路に落ちた土砂を除去してほしい。

答 早急に除去する。

## 町長随想

## 町民意識を育てよう

町長 畠山 亮二郎

く、町民なのである。「町民総参加」

ある。

の町政を打ち出し「町民憲章」を制定したのも、そこに意義があった。町政はみんなのもの。良くなるのも、

時代の流れとともに高まるエゴイズム。自分に不利益なことには反対。このエゴイズムを抑制するには、町

が生まれれば、自らの意見は述べ、他人の意見も尊重し、公のためにはその掌にあたるものの責任を信頼して委ねる。この民主政治の原理を保持

するはずである。このような町政を育みたいものである。自らの発言、意見に対して、無責任、無分別のそしりを受けるようであつては断じてならないし、それは、町発展の障害になるばかりであること

を心得なければならぬ。町おこしは町民憲章の実践である。そして、町民自らが真の代表として送り出した方々が町民を代表して責任を果たしているかによって、町の発展が決まると、私は常々考えている。

# 全町クリーンアップ



▲早朝から始められた全町クリーンアップ(写真・岩館)

▼青年会と無線クラブは国道沿いを担当

春—心はずむ季節ですね。  
でも、町の汚れも目立つ季節です。  
四月二十四日、全町一斉の  
クリーンアップが行われました。  
早朝からビニール袋片手に道路沿いの  
空き缶拾いをする、  
いつもながらの町民の姿をいたるところで  
目にしました。  
しかしこの光景を、毎年見慣れた  
いつもの「東由利の春の光景」  
としていいのでしょうか？  
美しい町ですごすために今一度、  
周りのごみに目を向けてみませんか。

みんな

の町を美しく



▼集落内の側溝の清掃も…(写真・下通)



▼この日は11トンのゴミが拾い集められた



## 低下した？町民のモラル

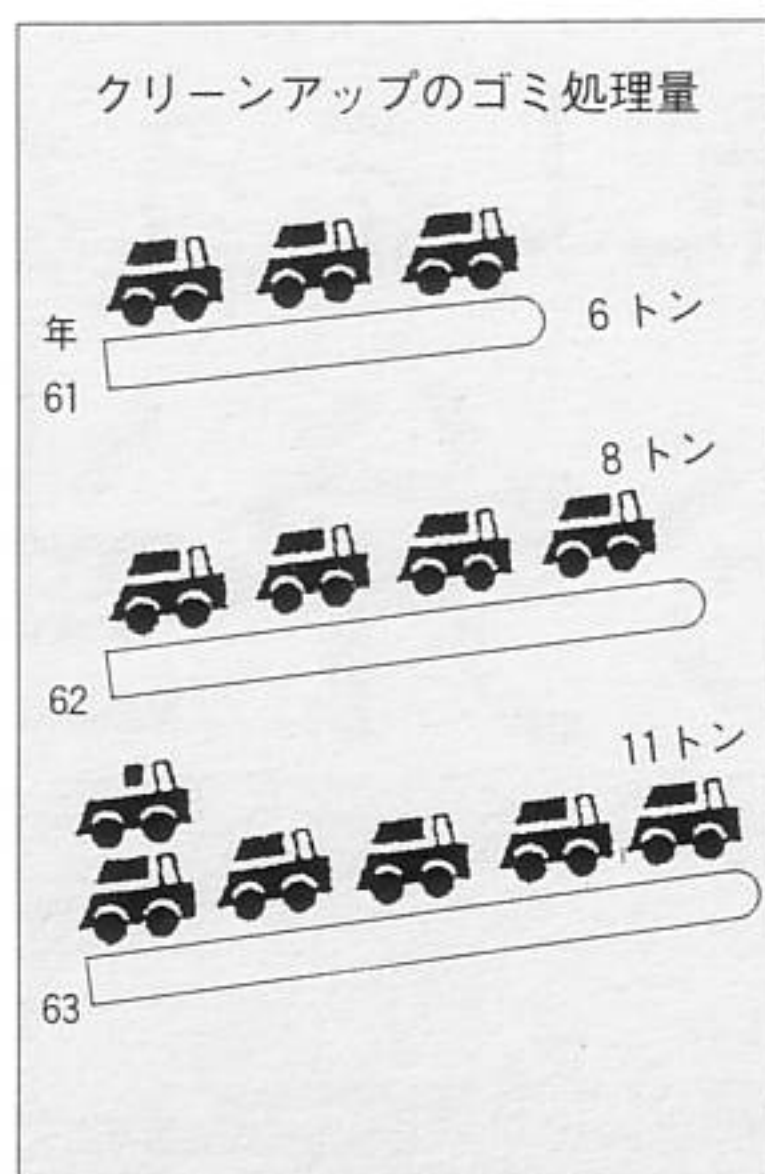
クリーンアップは毎年農繁期前の四月下旬、町民の自主活動として全町一斉に行われ、今年も四月二十四日に千人を超す町民が参加して行われました。

早朝から、各地区ごとに道路沿いの空き缶拾いや河川沿いに引っかかっているごみくずの除去作業に取りかかりました。特に道路沿いから拾われた空き缶は、トラックで十台以上はあるものと見られ、拾って歩く人々の怒りがかかっていました。「国

道沿いに落ちていた空き缶は町外の人だ」ということにもなりまじうが、町道沿いからもかなりの空き缶が拾われていることから、町民のモラルの低下が懸念されます。

## 捨てよう！「自分本意の心」

左図は、クリーンアップで各地区で拾ったごみをトラックで清掃センターに運んだときの処理量ですが、六十年が六トだったのに対して、今年は一トと倍近くも多くなりました。ごみの投げ捨ては、「だれも見ていないから」「自分一人くらいは」



「これくらいは」といった自分本意の「心」が原因です。自分の町の環境を、自分の家と同じように大切にする「心」を持つて、きれいな町を保っていききたいものです。

## 不法投棄をウォッチング

クリーンアップが行われたのを機会に、ごみの不法投棄にも目を向けて見たところ、町内のあちこちで不法に捨てられていたごみが見つかりました。いずれも人里から離れた林道沿いなどに多く、タイヤ、農業用



ゴミの不法投棄を町内のあちこちで発見  
(写真は山崎の林道沿いで)

なお、今月十六日、十七日に粗大ごみの収集を予定していますので、利用される方は役場衛生係までご連絡ください。

## ごみ処理は約束守って

投げ捨てのごみに限らず、一般家庭から出されるごみも年々増え続けています。六十二年度に収集したごみの量は四百十トで、一世帯で年間に約〇・三トのごみを出したことに

なります。ごみ処理の基本は「自分で処理できるごみは自分で処理することです。この基本を踏まえ、ごみ収集に当たっての注意と、ご協力いただきたいことを掲げてみます。

### 〈ごみの出し方〉

●各戸配布の計画表に従い、決められた日の決められた場所に、午前八時まで出すようにしてください。

●燃えるごみと燃えないごみは必ず区分して出してください。

●ごみの入った袋は、必ずタテとヨコを紐で結束し、自治会名と氏名も必ず記入してください。

### 〈ごみの減量〉

●生ごみの土壌への還元（資源としての活用）、自家焼却など工夫を凝らし、ごみの減量に努めてください。

### 〈収集できないごみ〉

- 厚さが六ミリの鉄板
- 大きさが一×二・七五以上のもの
- タイヤ、レンガ、ガレキなど
- 爆発の危険のあるもの
- P・C・Bを含む家電製品

## ごみ運搬の斎藤さんが退職 四月からは畑山さんに委託

本荘市と由利郡内五町の共同利



ごみ運搬業務を退職された斎藤幸益さん

用施設として、昭和四十八年に本荘由利広域ごみ処理センター（本荘市二十六木）が運営をはじめて以来、本町のごみ運搬委託業者として町内のごみを同センターに運び続けてきた島の斎藤幸益さん（71歳）が、このほど退職されました。このため町



新しくごみ運搬委託業者となった畑山敏さん

では新しくごみ運搬業者を公募、多数の応募者があった中から選考の結果、大塚の畑山敏さん（46歳）に委託することを決定しました。これにより畑山さんは、四月一日から斎藤

さんの後を引き継ぎ、町内のごみ運搬業務に携わっています。これまで十五年間、町のごみの運搬業務に携わってきた斎藤さんは、「町民の皆さんのこれまでのご協力に感謝する。ごみの処理には町から膨大なお金が支払われていることから、自分なりにごみの減量を訴えてきた。これまで集めてきたごみの中には各家庭で処理できるものや、生ごみなど水分を含んで重量のあるも

の多かった。ごみ処理の料金は重さで決められるので、これらはお金を燃やしているようなもの。今後も町民みんなでごみの減量に努め、町のお金の節約に努めてほしい」と自らの経験を通し提言してくれました。ごみ処理に係わる町の今年の予算は千七百万円。斎藤さんの貴重な提言を踏まえ、ごみの減量に努めようではありませんか。

# この春何かと忙しそうな気配です。 それともお弁当派！

## 1、まずはイベント満載「黄桜まつり」

五月十三日～十五日にかけてはイベントが目白押し。町民いこいの森を会場に「黄桜まつり」「黄桜まつり健康ウォーク・マラソン」「黄桜ゲートボール大会」そして特設の飲食店もずらりと登場、まる三日間をたっぷりとお楽しみいただきたい。まずは「黄桜まつり」のご案内から。

■日時 5月14日(土)  
11時～18時  
5月15日(日)  
10時～18時

■会場 八塩・町民いこいの森

①ふれあいの森記念植樹

(14日 9時～10時)

進入学児童と同保護者及び新生児

保護者を対象にツツジの植樹を行う。

②炭焼きの実演(14日 9時～10時)

八塩山麓会が自製の炭焼き窯を使って、現在ではほとんど姿を消した「炭焼き」を実演する。

③黄桜演芸会(15日 14時～16時)

八塩芸能クラブが主体となって、カラオケ、踊りなどの演芸会が開かれる。飛び入り大歓迎で、賞品もたくさん準備される。

④ミス黄桜コンテスト

(15日 13時～15時)  
町内の美人が勢ぞろいして美貌を競いあう。「ミス黄桜」には賞品として温泉一泊旅行にペアで招待する。自薦・他薦のうえ五月十一日まで町観光協会(☎69-2110)に出場のお申し込みを。出場資格は十五歳以上三十歳まで。

⑤素人モデル撮影会

(15日 13時～15時)  
町内の素人モデルを、黄桜をバック

⑥地酒きき酒コンクール

(14・15日 13時～15時)  
県内産の銘酒数種の銘柄を、あなたの舌で当ててみよう。ズバリ当てた方には賞品がある。

⑦溪流釣り大会(予定)

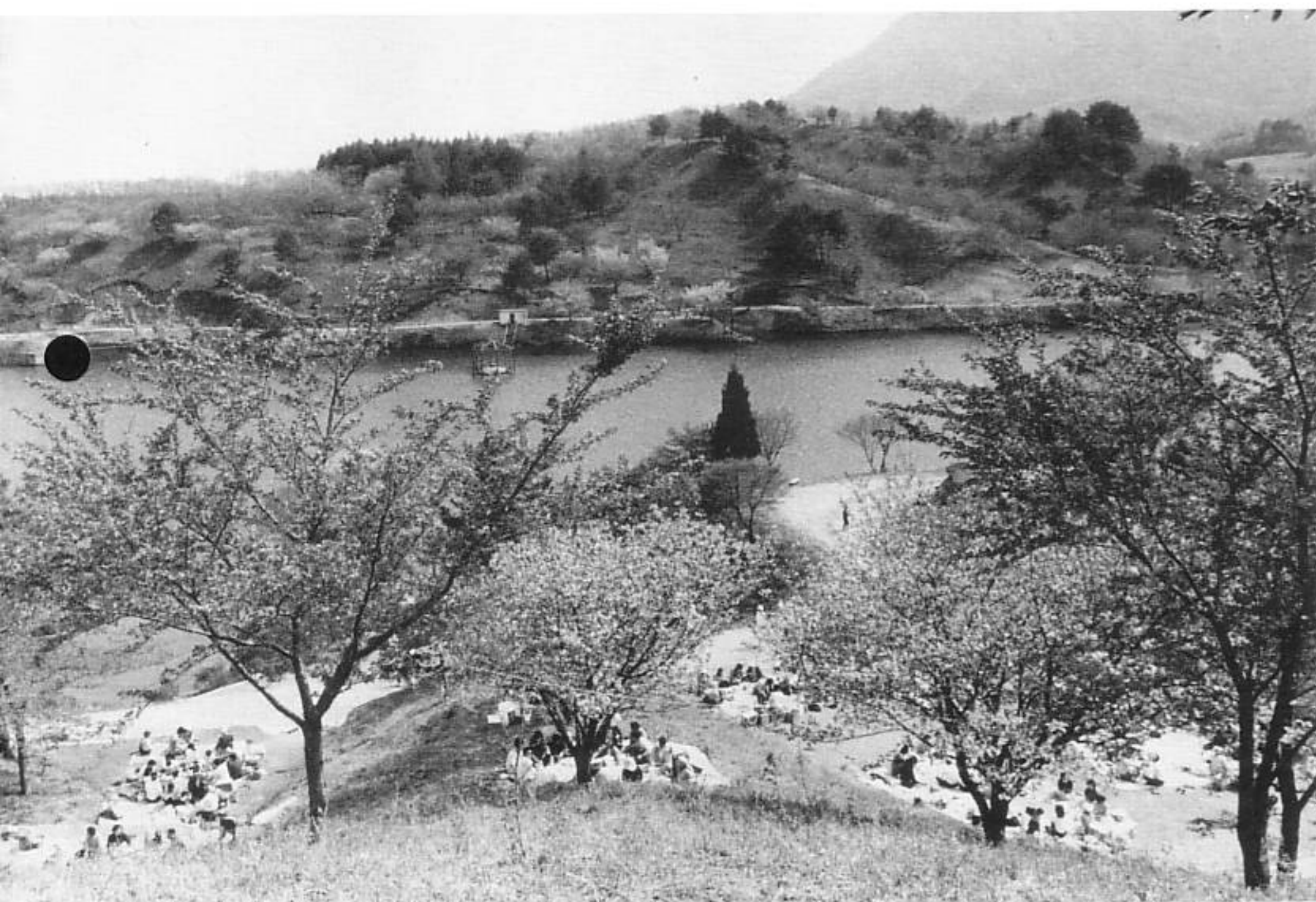
(15日 8時30分開会)  
町商工会青年部がダム下流にヤマメなどを放流し釣り大会を開く。参加料は無料で入賞者には賞品もでる。釣り道具は各自で持参してほしい。

⑧たこあげ大会(15日 13時～15時)

町の風あげ愛好会が主催する。風のある方はぜひ持参してほしい。

⑨特設飲食店とおみやげ

(14・15日 11時～18時)  
・由利牛のバーベキュウ・ヤマメの塩焼き・焼き鳥・いか焼き・たこ焼き・おでん・黄桜まんじゅう・漬け物等農産加工食品・山菜・酒類・ジュース類など、商工会青年部・婦人部、農協婦人部、連合青年会などが、おいしくしかも格安で販売する。



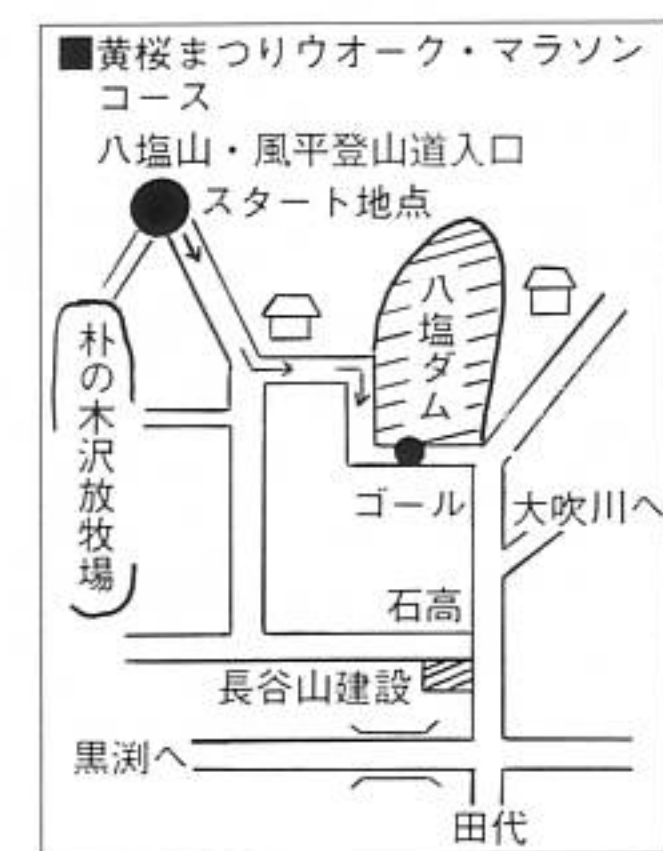
黄桜まつりが開かれる町民いこいの森 (写真上・中・下は62年5月10日撮影)



# さあ、春の行楽シーズンの到来だよ。 あなたはイベント派

## 2、おつぎは、そよ風に吹かれてウォーク・マラソン

イベント派、お弁当派、そして老いも若きもぜひ参加してほしいのが「黄桜まつり健康ウォーク・マラソン」。自分の足で自然や大地と対話しながら、五月のさわやかなそよ風に乗ってマイペースで走ってほしい。終わった後のお弁当やビール、ジュースのおいしさは補償つき。



■コース 町民いこいの森周辺(図参照・約2.5km)  
■申込 5月10日まで、小・中学生は学校、高校生以上は町公民館へ。  
69-2311



町民いこいの森の桜はこころ満開。桜並木をそよ風に吹かれて走れば気分も満開

## 3、中・高年向けにはゲートボール大会が待っている



写真・全町ゲートボール大会(62年8/2)

三十分という時間が長いのか短いのか。ゲートボールも考えようによつては過酷なスポーツといえるのではない。激しい動きはないにしろ、自分のボールだけがゲートをくぐり抜ければいいのではない。味方や相手チームのボールに全神経をそそがなくてはならないのである。しかし、とにかく今は、中・高年のフイーバースポーツだ。「黄桜まつり」と協賛して開かれて今年で三回目を迎えた「黄桜ゲートボール大会」。今年はどのチーム

が優勝するか楽しみだ。  
■日時 5月13日(金) 午前10時試合開始  
■会場 町民いこいの森運動広場  
■申込 5月10日まで町公民館 69-2311へ。  
■参加料 一チーム千円  
■競技 リーグ戦方式

## 4、自然を満喫するなら町民登山。山菜も真つ盛り

行楽の春最後のイベントは「町民登山」。地元の最高峰八塩山に、森林浴を楽しみながら登ってみてはいかがだろう。標高は七三三メートル。小さい子供でも十分登れるし、登山道も整備されているから安心だ。それに、なんといっても魅力は山菜採り。ワラビ、ゼンマイ、ミズ、ホンナなど、山の幸がところ狭しと生えている。このころは頂上のタケ

ノコも真つ盛りだろう。  
■期日 5月29日(日)  
■集合地 午前9時30分まで、風平登山道入口(深山・朴の木沢放牧場付近)に集合。  
■その他 ・お弁当持参・登山のできる服装  
なお、雨天のときは延期になるので、雲行きの悪いときは当日の朝、町公民館 69-2311に連絡を。



頂上で食べるお弁当の味は格別(写真は昨年の町民登山でのひとコマ)

事故にも十分気をつけよう！  
行楽シーズンには事故がつきものだ。この季節は空気が乾燥しているので山火事には特に気をつけてほしい。また、家族づれで車で遠くへ出かける人も多いと思う。せっかくの行楽が悲劇とならないよう交通事故には十分注意し車を運転してほしい。

# スワツ

# 「火事だ！」

## 館合地区で春季大火防止訓練実施

春恒例の大火防止訓練が四月二十四日館合地区を会場に、町消防団員ら三百人とポンプ車など二十五台が出動して行われました。

訓練は、「午後一時小松医院付近で火災が発生」の想定で行われ、第一次から二次、三次火災へと広がる火災の模擬消火活動に、出動した団員らはきびきびとした動作で対応、実践さながらの訓練を繰り広げました。また本荘署からは屈折はしご車も出動し、詰め掛けた大勢の観客が見守る中、大がかりな救出訓練を展開しました。

以下、訓練の様相を写真で紹介し  
ます。



「小松医院付近で火災発生」の通報で即座に駆け付け、給水訓練にあたる消防団員



二次火災発生の舞台となった家の下地区で、きびきびとした動作で訓練を展開する消防団員



軽可搬ポンプやバケツを使って消火訓練にあたる館合地区婦人消防隊員



本荘署からは屈折はしご車が出動し、農協玉米支所購買二階からの人命救助と給水訓練にあたった

今月のドキュメント

# カメラ・アイ

実践しながらの訓練に地元住民も大勢詰め掛け見守った



訓練終了後は参加者全員で館合地区をパレードし、火災予防を啓発した



閉会式は農協玉米支所前で行われ、人員や機材の異常の有無について報告などを行い解散した

知っていますか火事と救急一一九  
**赤・ピンクは鍵が必要です**

火事と救急の電話番号は一一九番と知っているつもりでも、いざというときはあわてて他の電話番号を回してしまい、他へつながったり通じなかったりします。さらには、だれかが通報したかどうかの先入観から、ますます火災が大きくなったり、交通事故の場合では助かる人も助からないということになりかねません。特に公衆電話は、通報の仕方が次のように違うので注意が必要です。  
**赤・ピンク電話**▼鍵が必要です。  
**青電話**▼十円を入れて一一九番。隣に赤箱があるときはそれで一一九番。  
**黄電話**▼十円か百円で一一九番。プッシュホン式の場合は赤ボタンを押してから一一九番。お金はもどってきます。

## 住みよい暮らしをつくる

# 国の「公聴サービス」

春の行政相談週間・5月15～21日

「バスと列車がスムーズに接続しないので困っている」「年金の支給が遅くて困っている」

私たちの日常生活で、公的な機関が行う仕事についてこのような問題が起きたとき、もっとも身近な解決の窓口となるのが、「行政相談」で

す。

行政相談は、国の仕事、JR・NTT・日本たばこや公庫・公団・事業団などの特殊法人の仕事、地方自治体が国から委任されたり国の補助金を受けてやっている仕事に対しての苦情や要望などを聞いて、その解

決や実現を図ることを第一の目的に設けられているものです。

また同時に、行政相談はそれらの事例や、寄せられた意見をその後の行政運営に生かすという大切な役割も担っています。つまり、一言でいうと行政相談とは、私たちが住みよい暮らしを送るためのいわば「公聴サービス」なのです。

## 身近な問題どうぞお気軽に

では、持ち込まれた苦情や要望などは、どのように処理されているの

でしょうか。

〈事例〉 JR・A駅の階段は、各段の境が見えにくく、視力障害者や目の悪いお年寄りには危険だという苦情が、行政相談の窓口寄せられました。

行政監察局では現地調査を行い、苦情のとおりであることを確認したのち、A駅にあっせんした結果、点字ブロックが付けられることが決定しました。点字ブロックが取り付けられたのは、苦情の申し出から一カ月後のことでした。

これは、行政相談によって問題が解決したほんの一例ですが、行政相談では、こうした生活の安全問題のほか、環境、社会福祉、社会保険、労働基準、運輸など、一般の生活にかかわる事項を広く取り扱っています。

相談は、口頭、手紙、電話のいずれでもよく、無料です。お気軽にご利用ください。

本町の行政相談委員は、阿部寅静さん（蔵・☎3114）です。



# 出羽丘陵開発事業の完成迎え 畜産経営はこれから正念場

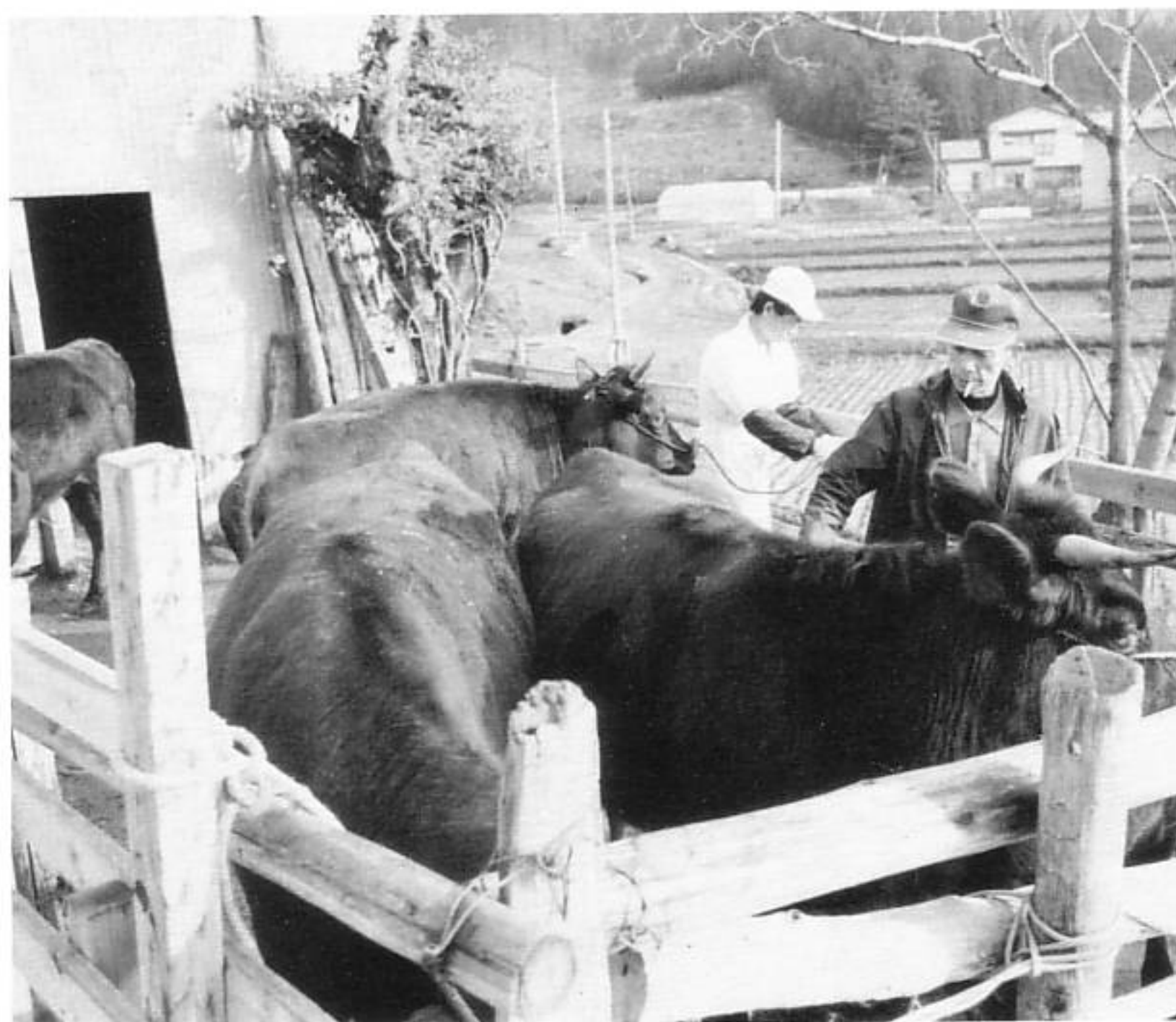
増頭対策で増える肉用牛

『あきたこまちと由利牛の里』を表徴する本町は、県内でも有数の畜産の町です。

肉用牛飼養頭数が減少傾向にある近年の県内畜産事情にあつて、今年二月の調査では前年同期と比べて本町の成牛が二十三頭増加、県内で唯一増頭に転じました。

これを担ったのが「肉用牛増頭対策事業」です。和牛を増やそうとする農家に対して一頭当り六万円の奨励金を交付するもので、昨年度から発足、同年度では目標の五十頭を上回る六十頭に奨励金が交付されました。子牛の市場価格が順調なことと背景にあるものの、畜産に対する町のこうしたテコ入れが畜産農家の意欲をかきたて、増頭に結びついたものと思われるます。

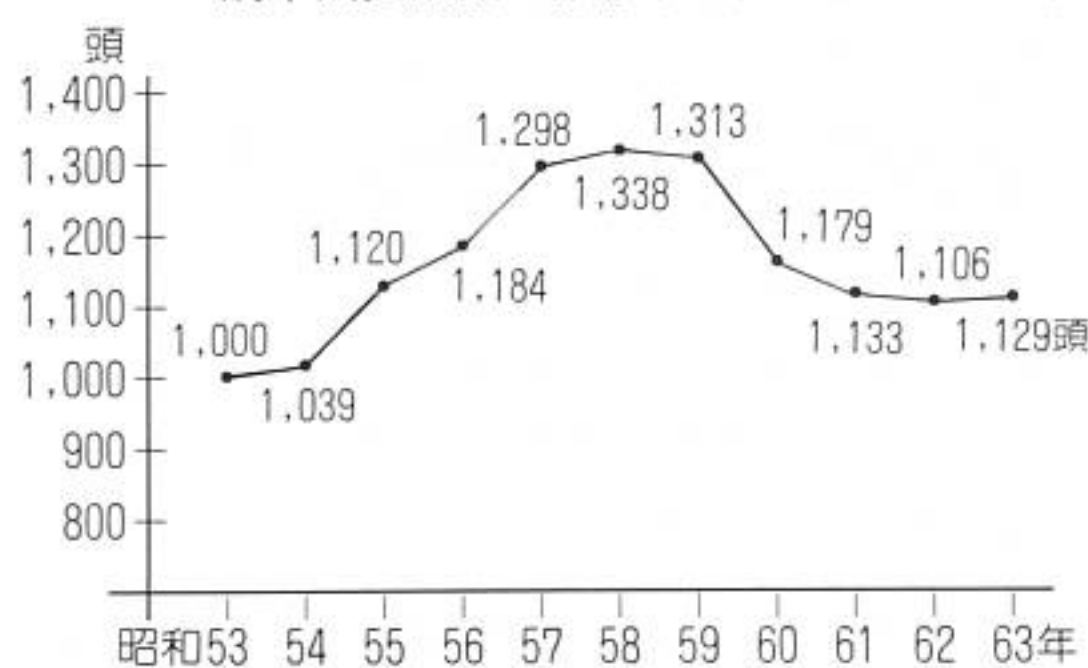
同事業では三ヶ年度で百五十頭の増頭を計画、今後も肉用牛の増加にますます期待がかけられます。



着々とすすむ

「由利牛の里」づくり

●成牛飼養頭数の推移(各年2月1日現在)



## 出羽丘陵開発事業 今秋に完成を予定

こうして畜産を町の一大産業として推進している本町では今年、畜産振興に大きな戦力をもたらす「出羽丘陵開発事業」が完成する予定です。粗飼料基盤の確立を目指し昭和五十八年に着工したものの

## 牛肉の輸入自由化と、子牛 価格の変動が気になるが：

畜産の町として新たな飛躍が期待される本町にとって、牛肉の輸入自由化と今後の子牛価格の変動が気になるところです。

牛肉の輸入自由化については、実施された場合に本町にどれだけ影響を与えるのか、今のところ予測は難しいようですが、しかし、

ですが、関係者の熱意と協力により、予定より一年早く今秋完成を予定しているものです。  
出羽丘陵開発事業の完成は、粗飼料基盤の確立とあわせ畜産の低コスト化などに大きく拍車がかかるもので、今後、銘柄牛「由利牛」の主産地として、本町の産業振興に大きな期待がもたれます。



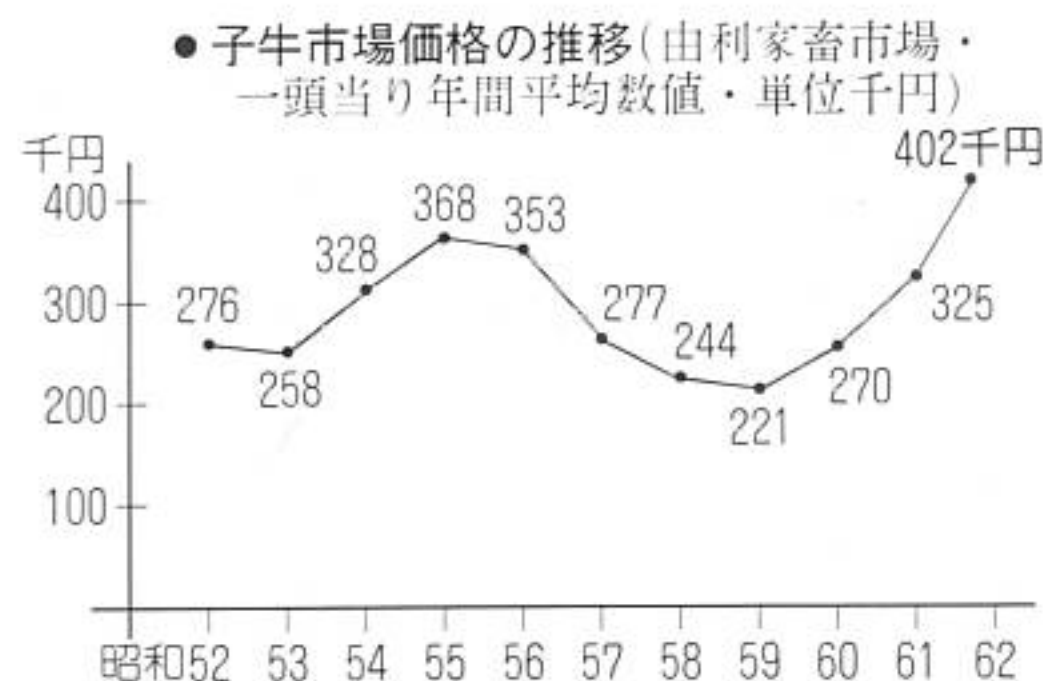
秋田県農協五連会長の佐藤秀一氏が先に本町で開催した畜産講演会の講演の中で、「一時的なショックはあっても大きな影響は受けないうだろう」(広報ひがしゆり三月号掲載)との見解を示しているのをはじめ、県内畜産関係有識者の間からも今のところ悲観的な意見

はでていないようです。この背景には肉質の問題が絡み、高級指向の世相にあって国産牛肉は輸入牛肉に負けないという、大きな自負に基づいているようです。



## 価格の変動に左右 されない経済感覚を

また子牛の市場価格については、現在高値を維持している状態ですが、ここ十年間の子牛市場価格の動向からして今後低落していくことも考えられます。しかし、子牛価格に限らず、価格の変動はすべての農・畜産物につきものです。価格の変動に左右されない経済感覚を持ち、高値安定期に低落に備えた資金設計を確立しておく必要



## 良質牛生産の課題は 「粗飼料の確保」

牛肉の輸入問題や子牛価格の変動に耐えうる畜産経営を成し遂げていくためには、やはり肉質の良いい牛の生産が課題です。このことについて町畜産振興指導員の鈴木龍太郎先生は、「牛の飼料の主役をなすものは粗飼料です。牛には生理的にどうしても粗飼料が必要であり、『よい牛は草から』とい

うことは、牛飼いにっては鉄則です。特に今後、体積、資質ともによい牛を生産しなければならぬ肉用牛飼育農家にとって、良質粗飼料を確保し給与することは大切なことです。牛によい草を食べさせて資質等の向上を図り、激化するであろう産地間競争に打ち勝ちたいものです」と、粗飼料の重要性を訴えています。

出羽丘陵開発事業が完成し粗飼料基盤が確立した本町にとって、畜産経営はこれからが正念場です。

# 農にまもる



## 名実とも「由利牛」の 主産地に！

葎沢・佐藤好男さん



繁殖牛九頭(草地改良と成牛世代交代などで現在六頭減らしているが実質経営は十五頭)・水田二畝・粗飼料畑一・五畝の第一種兼業農家

私の畜産経営は昭和三十九年に一頭の成牛を買って飼育を始めたことから始まりました。以後計画的な増頭を図り四十八年には肉用牛生産団地化事業が始められ私も率先して参加、本格的な繁殖牛の飼育に入り六十年には常時成牛十五頭を確保するまでに至りました。しかしこの年から、出羽丘陵開発事業による既存草地の改良と成牛の更新時期がかち合ったことなどにより、九頭に減っています。私は基本的に、自家産の牛を改良、保留・育成し、それを基礎牛として繁殖経営を進めています。この方法ですと改良が少し遅れることは確かですが、「生れたときから自分の手で育てた牛が飼いや

すい」こともあります。このため私の牛舎には現在、自家産の成牛以外はいません。私にとってこのことは大きな自慢の種です。

今日、毎日のように牛肉の輸入自由化問題がマスコミ等で騒がれ、私たち畜産農家をおびやかしていますが、良質の和牛肉は輸入牛肉に比べ質がよく、大きな影響はないことを信じています。

全国的に和牛が少なくなっている昨今、当町では今年出羽丘陵開発事業も完成し粗飼料基盤が確立します。牛にはおいしい草を存分に食べさせることができるし、飼料代も円高で二・三割安くなっていることから、今こそ私たち畜産農家は性根をすえて牛飼いに励み、名実共に「由利牛」の主産地化を進め、儲かる畜産経営をしていかなければならないと考えるところ

## 牛を増やしませんか 肉用牛(繁殖)の増頭に6万円を助成します。

町では、草地の改良が進んだことや、転作作物の有効な活用などとあわせて、肉用牛の生産規模の拡大を進めています。このため昨年度から、繁殖牛を増やした農家に対して一頭当り6万円(最初の年に3万円、3年目に3万円)の奨励金を交付する、「肉用牛増頭対策事業」をスタートさせました。

今年も50頭を増頭する計画で予算を計上し、現在増頭農家を募集中です。

肉用牛(繁殖)の増頭を希望する方は、役場産業経済課・畜産係 ☎69-2110(内線62番)までご連絡ください。





いよいよ開幕ノことしの稲作

「こまち」の増加で  
所得の向上に期待

いよいよ今年の稲作が開幕しました。稲の苗もいま、それぞれの農家のビニールハウスの中で、今月の中旬の下旬の田植えに向かいスクスクと育っています。東由利農協育苗センター（西山）でも、町内のトップを切って四月十日から播種作業を開始、同二十五日までに約六十二畝分、一万八千箱の播種を完了しました。同センターで今年育苗しているのは、本町が主産地化を目指している



スクスクと育つ稲の苗（東由利農協育苗センター・ハウス）

「あきたこまち」のほか「ササニシキ」などの良質米が多く、全体の約七五割を占め、昨年を一五割上回りました。

東由利農協では種子の購入状況からしても今年は「あきたこまち」の作付けが大幅に増えそうだと、しており、このことから今年は良質米の生産が増え農業所得の向上に期待できそうです。

「若輩ですがよろしく」  
老方駐在所に広嶋さん赴任

老方・駐在所に新しく広嶋寿さん（二十三歳）が着任されました。広嶋さんは増田町出身で独身。西目町駐在所からの赴任です。

「若輩ですが皆さんの役にたてるよう頑張ります」と張り切っています。どうぞよろしく。



広嶋さん

犯罪捜査にご協力を

犯罪はいつどこで発生するかわかりません。警察では犯人を早く検挙し皆さんの生活を守るために捜査活動へのご協力をお願いしています。犯罪を見たら、聞いたら、被害にあったら、すぐに一一〇番通報を。

新入生に町出身者から  
あたたかい善意：

「小さいころお世話  
になったお返しに…」

胸ふくらませ、四月からピッカピカの一年生になった町内六十九人の新入生に対して入学式の当日、本町湯出野出身で自由業の小松隆二さん（千葉県安房郡白浜町在住）から、一人一人の名前が刻まれた鉛筆一ダースずつが届けられました。小松さんは、「小さいころから体が不自由で、特に下郷中学校当時はみなさんに大変お世話になった。そういうことも含め、小さなことですが何か町のお役に立てればという気持ちから…。今後受け入れてもらえるならば毎年送り続けたい」と、送ってくださった動機などについて話してくれました。

自分の名が刻んである、という気の利いたあたたかいプレゼントに新入生たちは大喜びし、それぞれが大切な宝ものとしてとても大事に使っていました。ありがとうございました。



写真は小松さんからプレゼントされた鉛筆を手に高瀬小学校1年生のみなさん

体を動かそう など目標に  
町愛育会が今年の活動を開始

ダンスで英気養う

新会長に小笠原さんを選出

町民の健康づくりを他町にきぎがけて推進している本町で、陰の力となつて活躍している町愛育会の、総会が四月二十五日有隣館で開かれました。総会には各地区から選ばれた額ぶれも新しい百四十人の会員が出席し、自らの今後の活動計画などについて話し合いを行いました。この結果今年の活動目標に、①体を動かしましょう②塩分は一日十グラム以下にしましょう③一日三十種類の食品をとりましょう④虫歯を防ぎましょう



リズムダンスをおどって英気を養う愛育会員

⑤母乳育児を広めましょう…を掲げ、

成人病・歯科・精神衛生など会員自らの学習会のほか、訪問活動や各種検診の呼び掛けなど地域での実践活動を積極的に展開していくことを決め、今年の活動をスタートさせました。また五十嵐恵美子さんに代わり、小笠原亮子さん（蔵新田）が新しく会長に選ばれました。総会終了後は、体を動かすことの実践や会員相互の交流を図るために「リズムダンス」をおどり、今後の活動に英気を養いました。

今シーズンのテニスコートいよいよオープン

## 連休は家族連れで どしどし利用を…

越冬の初年度であり、コート地盤の調整のため雪消えと同時に利用できなかったナイター設備町営テニスコートが、四月下旬に補修工事を完成、今シーズンの利用がいよいよ始まりました。同テニスコートは、町民待望の社会体育施設として健康増進センターと共に昨年四月にオープン。昨シーズンは延べ二千五百人余りの方に利用されました。

五月の連休を迎え家族連れでテニ



ナイター設備の町営テニスコート

## まちかど スナップ

町民のみなさんの撮ったスナップ写真をお寄せください。掲載させていただいた場合には町特製のテレフォンカード(50度数)を進呈します。次回のテーマは「運動会」です。

## ゲートボールで活躍中の 渡辺さんと小野さんが 県協会から 功労賞を受賞



県ゲートボール協会から贈られた楯を手に、渡辺さん(右)と小野さん(左)

秋田県ゲートボール協会設立五周

年を記念し、このほど同協会から渡辺与八さん(田代)と小野貞賢さん(蔵)に功労賞が贈られました。お二人は、県内にゲートボールが普及し始めたと同時に本町での普及を推進すると共に、昨年発足した町ゲートボール協会では草分けをなすなど、ゲートボール振興に大きく貢献してきましたことが認められたものです。

お二人とも二級公認審判員の資格保持者として町内外でご活躍中です。



## かやぶき屋根のある風景

撮影(左)・広報担当

最近では少なくなった「かやぶき屋根」の家。春の、のどかな風景として目に写ったので、思わずシャッターをきりました。

さて、次号からこのコーナーでは町民のみなさんからのスナップ写真を掲載します。毎月テーマ(次回・運動会)を決めて募集しますので、どしどしお寄せください。もれなく粗品を進呈します。

## 東由利歴史散歩

文・畑山昭一  
(町史編集室)

けいかぼく  
珪化木は  
水の中でできた?

東由利はかつて火山  
活動の激しいところ



老方、泉秀寺境内入口右側にある珪化木

東由利町は珪化木(木の化石)の宝庫といわれ、県内をはじめ広く知られています。珪化木がどのような状態にできたかについては諸説がありますが、木の幹の部分に珪酸といわれる、非常に硬いメノウやガラスのような成分と入れかわったことにより、木が石になったものです。珪酸は天然には石英や水晶などとして産出し、ガラスや陶磁器の原料となります。

では、どのような状態でできたのでしょうか。かつて東由利は大森林地帯だったり、海底だったり、火山活動の激しいところでした。今から二千万年前頃は現在よりも温暖な気候で、常緑広葉樹

や落葉広葉樹の入りまじった大木が繁っていました。それが約千五百万年前頃から、東由利は沈降によって潟や湖・海底になったり、また隆起をくりかえす中で、珪化木は形成されたと考えられています。したがって珪化木は、かつて海(水)の時代があったからできたということですね。

珪化木は東由利全域で見られる訳ではなく、須郷・沼・杉森・舟木・大台地域などに片寄っています。県立博物館に東由利産の珪化木が展示されていますが、老方の泉秀寺境内入口右側の珪化木はずっと大きく、地上からの高さ二・四メートル、三・四メートルもあり、おそらく県内一と思われています。

み

ん

な

の

ひ

ろ

ば

この紙面は、みんなで作るページです。町民の交流の場としてどしどし参加してください。自薦、他薦どちらでも結構です。広報担当までお知らせください。

わたしの  
お父さん、お母さん

ぼくのおとうさんは  
かっこいいです。



下通・畠山雄太くん

## 伝承・昔の遊び②

### 石けり

新処・遠藤タカ子さん



絵・石渡力造さん

「石けり」の歴史は、たいへん古く、ギリシア神話にも出てくるそうです。

遊び方にはいろいろあって、中

東由利町の皆様お元気ですか。東京は四月に入って雪が降り、いつもの年より桜の花も遅咲きでした。そちらの方はこれからがお花見のシーズンで、みなさん楽しみにしていることでしょうね。



東京都・池田成子さん(会社員・大塚出身)

ふるさとを想う ②  
ゆつくり帰省したい

私もふるさとを離れて早や二十三年が過ぎましたが、年をとると共にふるさとが恋しく、今では町の広報が何よりの楽しみです。そして町の発展の様子を見ては幼いころを思い出しています。

ふるさと東由利へは、五年前結婚式に出席のため帰省しましたが、あわただしく、トンボ帰りの有様でした。いつかは、子供も大きくなったことだし、ゆつくりと帰省したいものです。そのときは「ふるさと交流」にもぜひ参加したいと思っていますのでよろしくお祈りし、失礼いたします。



## ものしり家庭版 知っている便利、くらしの豆知識 ②

### ●食品の温度管理は冷蔵庫用温度計で

食品が傷みやすくなり、食中毒も多発する季節が近づいてきました。冷蔵庫の新温度帯室を有効に利用して、できるだけ食品の鮮度や持ち味を損なわないよう心がけましょう。

は繁殖しやすくなるため、庫内の温度は常に5℃以上にならないよう注意したいものです。そのためには、庫内に冷蔵庫用の温度計を入れて置くことをおすすめします。庫内の空気温度ではなく食品に近い温度が測れ、大変便利です。この冷蔵庫用温度計は、電気店に頼むと取り寄せてもらえます。(価格は九百円程度)



## 健康ライフ

### “おたふくかぜ”が流行りつつあります

指導・小松医院 小松良竹先生



おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)は耳下腺がはれる急性伝染病で、ウイルスそのものに有効な薬はなく、薬物治療は、解熱・鎮静剤による対症治療が主です。このため、発熱、耳下腺腫脹のあるあいだは女性の卵巣炎、男性の睾丸炎など不妊症の原因となる病気の発病を防ぐためにも安静が必要で、すっぱいもの、からいものをさけ、脂肪性食品を制限してください。耳下腺のはれには、まず温湿布を試み、痛みが軽くならず、不快がるときは冷湿布をします。

# How to cooking

## わが家の自慢料理

### よもぎの

### 貯蔵

宿・遠藤禮子さん

「よもぎ餅」が  
いつでも食べられます。



お正月に使えば  
粋なお供え餅のできあがり。

③ きっちり交りながら  
おにぎりにくりにまるめ  
真中に指で  
穴をあけます



① よもぎを春の早  
うちに摘みます

〈よもぎ餅の作り方〉  
干したよもぎを水にもどし、細



④ その穴にワラを通して  
ひなたに干します  
(乾きやすくするため真中をうすくする)

② 灰汁でゆでます



かくきざみ、八分目くらいついた  
餅に入れ、更につき混ぜます。

⑤ しっかり乾いたら  
紙袋に入れて保存する



1時間位水にさらし  
ワラを抜きます



高瀬小学校四年  
阿部毅敏くん

## 子からホンネ本音親から

岩館  
阿部敏夫さん

ぼくは今度四年生になったので、今までよりもっと一生けんめい勉強したいと思っています。だから、「勉強しろ、勉強しろ」と、あんまりいわないでください。

それから、ぼくは今度犬を飼いたいと思っています。犬の世話はずぶん自分でやりますから、犬をかうことをゆるしてください。おねがいします。それと、お父さんが休みの日には自転車で魚つりに、もっと多くつれていってくればうれしいナ。



勉強しろって、そんなにたくさんいったかな。でも今度から一生けんめいやるって聞いてうれしいです。がんばってください。それから、犬を飼いたいということなんだけど、きつとお母さんや、おばあちゃんたちが反対すると思います。それは、犬をかうということは、毎日ごはんを食べさせたり、そのうじをしたり、また注射をしなければならなかったりと大変だからです。魚つりへは、今度からいっぱいつれてあげよう。

## お年寄りの健康

## 若さを保つ日常の心得

いつまでも若々しいからだを心を保つために、次のような日常の心得をご紹介します。

第一に定期的に健康診断を受け、自分のからだの調子を大体つかんでおくこと。

第二に適度な運動をしたり、知的刺激を受けるように心がけること。



と。からだも頭も、使わないでくと退化してしまいます。

第三にいつも若々しい気持ちを保持して、服装や身だしなみに気を付けること。多少派手にするとよいでしょう。

第四に積極性を失わず、自分から進んで他人との接触を求めること。いろいろな集まりなどに積極的に出席するようにすれば、若々しさが出てくるものです。

(保健婦・小松友子)

## 東由利の文芸

ゆりかご句会三月定例会から

◆朝東風や夫唱婦随が畦を行く

小松鉄太郎(下通)

◆爪立ちて吊す子の絵馬東風になる

高橋秀子(横渡)

◆東風を呼ぶ文鳥の声明るくて

小野貞子(蔵新田)

◆東風寒し消灯早き老舗街

小松メサコ(下小路)

◆縄文の遺跡を染めし草紅葉

小笠原トミ(蔵新田)

◆東風止みて門燈点る戸をくぐる

小松徳蔵(湯出野)

## 初孫です

山崎・嶽石 望ちゃん・11カ月  
伊久雄さんと伊津子さんの長男



「おじいちゃんとお風呂に入るのが大好きな我が家の王様です。初めての冬もかぜ一つひきません」  
おばあちゃん・アヤコさん談



## 郷土の野草

文・写真 小松忠正

# 38 シュンラン

(ラン科)

各地の比較的乾燥した山地に見られる常緑の多年草、根は白色で長く太い肉質です。葉は線形で根から多数集まって出ます。花はうすい黄緑色で、一つの茎から一花をつけます。(まれに二花をつけることがあります。一早春から晩春までこの美しい花が楽しめます。また花茎とも食用にもなり、生でたべたり花の三倍量のホワイトリカーに漬けて春蘭酒(花酒)にしたります。強壮、解毒作用、食欲増進などの薬効もあります。

## 4月★町のミニ統計

人口( )は前月比

- ・男 2、955人(△16)
- ・女 3、076人(△9)
- ・計 6、031人(△25)
- ・世帯数1、449戸(△5)
- ( )は1月からの累計
- ・出生6人(18)・死亡8人(23)
- ・転入13人(20)・転出37人(55)
- ・結婚0組(1)・離婚0組(0)
- ・火災0件(1)・救急車出動7件(23)・ごみ処理量34t(88)
- ・交通事故1件(3)・死者0人(0)・傷者1人(3)・飲酒運転0人(0)・酒気帯び0人(0)

# 5町民カレンダー

- 5・青年駅伝大会(公民館前9時集合・9時30分出発)
- 7・蔵地区家庭教育学級(大蔵館19時)
- 13・黄桜ゲートボール大会
- 14・15・黄桜まつり
- 15・黄桜まつり健康ウォーク・マ

## 善意

町社会福祉協議会へ次の方々から善意が寄せられました。

### 【ご芳志】

- ▼佐藤順一さん(黒瀬)・佐藤徳市さん(八日町)・鈴木国雄さん(杉森)・鈴木孝弥さん(沼)

ありがとうございます

## 町民カレンダー

### ピックアップ



昭和六十三年年度のことぶき大学が、いよいよ今月十七日から始まります。第一回目のこの日は開講式、町長の講演、教育長の講話のほか、午後からは六十三年度の学習計画について打合わせをします。



ラン

- 16・粗大ごみ収集(予定)
- 17・ことぶき大学開講式(朋楽荘)

## 戸籍だより

(321/420届出・敬称略)

### ●お誕生おめでとう

- 大日向直樹(和弘・二男)大琴
- 梅津 芳史(嘉人・二男)大琴
- 小野 芳(順治・長女)新町

四月号中、佐藤匡規は、「匡規」の誤りでした。訂正しておわびします。

### ●ご結婚おめでとう

- 仙道 孝一 新沢
- 安倍 悦子 家ノ下

### ●ごめい福をお祈りします

- 小松彦太郎(69・イサミ・夫)山崎
- 鈴木キミヨ(74・孝弥・母)沼
- 阿部 幹夫(49・ハル子・夫)蔵
- 佐野 順一(49・ワカ子・夫)松柴
- 佐々木金一郎(66・賢・夫)大琴
- 佐藤タマヨ(86・徳市・母)八日町
- 小野 金一(65・ヨシ子・夫)須郷田
- 鈴木アキノ(86・国雄・母)杉森
- 小野 明菜(2・幸喜・二女)上里

・10時

- 21・法内地区家庭教育学級(克雪センター・19時)

- 27・1歳6ヶ月児健診(有隣館・13時)

- 29・町民登山



## 悩みごと何でも相談

### 【相談】

親戚に頼まれ借金の保証人のハンコを押した。ところが、当人が払わないからと借入先から催促された。保証人としての責任はわかるが、借主が働きもしないでぶらぶらしているのに、保証人が苦勞してまでもその責務を果たさなければならぬ。

### 【対応】

保証人には単なる保証人と連帯保証人の二つがあります。連帯保証人には借主と同じ責任があります。単なる保証人には「抗弁権」がありすぐ払う必要はありません。(町心配ごと相談所)

## 編集室から

先月号「カメラ

・アイ」で取り上げた「文化サークル発表会」の写真に、「人の顔をなぜ削った。失礼ではないか」などのお叱りが殺到。大変失礼しました。印刷屋さんへの指示のミスでした。そのほか紙面の変更に対し「垢抜けて良い」「少しごちゃごちゃだ」など、率直なご意見ありがとうございました。

さて、広報発送一週間前に「ことしの町づくり」をお届けしました。限られた時間での編集・発行のためミスがあるかも知れませんが、ぜひお読みくださり今年の町づくりにご意見をお寄せください。

